

令和8年2月号

鹿浜こども園だより



令和8年2月2日
足立区立鹿浜こども園
第一園舎 Tel.3855-4447
足立区鹿浜 5-25-11
第二園舎 Tel.3897-8515
足立区鹿浜 5-24-4-101
園長 澤田 好

体験からの学び

寒さが厳しい季節ですが、子どもたちはプールに氷が張られてないか毎日確認するのが日課となっています。表面が光っていると氷が張られていることに気づき、友達を集め、思い思いに氷に触れています。そのなかで、冷たさや、なぜ今日は氷が張られているのか、昨日と厚みが違うなどなど…いろいろなことに気づき言葉で表現しています。この体験が、子どもたちの認知につながり、数や重さ、気温、自然現象を知ることにつながっています。職員も子どもたちの気づきを大切にするために、プールの水の量を考え次の発見や氷を使った遊びが広がったり深まったりすることを期待しながら調節しています。

また2月は、寒さを吹き飛ばす楽しい行事があります。それは、節分です。

節分って何だろう？

2月3日は「節分の日」。節分は、季節の変わり目に悪いものを追い払い、新しい季節を迎えるための行事です。「鬼は外、福は内！」の掛け声とともに、鬼を追い払うために豆をまきます。

子どもたちも、今から豆を作ったり鬼のお面を作ったりしながら当日に期待を持っています。鬼のお面を園庭やお部屋にぶら下げて、豆まきの準備をしている子どもたちもいます。ここでも思い思いの気持ちが芽生え、大人や友達に伝えている姿があり、成長を感じています。怖がらずに豆まきができ、元気いっぱいの1年を迎えたいと思います。

園長 澤田 好

鹿浜こども園の教育目標

げんきなからだ
やさしいところ
かんがえるちから
心豊かで たくましい
「遊ぶの大好き・笑顔いっぱいの子ども」
を育てる

【行事予定】

| 2月 | |
|--------|--------------------------|
| 3日(火) | 節分 保護者会(4歳児) 15:30~ |
| 4日(水) | 安全指導 保護者会(1歳児) 16:00~ |
| 5日(木) | 交通安全教室(3~5歳児) |
| 12日(木) | 保護者会(2歳児) 16:00~ |
| 19日(木) | 新入園児健診(長時間保育児) |
| 20日(金) | 身体測定 |
| 未定 | 避難訓練(予告なし訓練) |

| 3月 | |
|--------|-----------------|
| 3日(火) | ひなまつり |
| 5日(木) | お別れ遠足(5歳児) |
| 10日(火) | お別れ会(4・5歳児) |
| 12日(木) | 新入園児説明会 安全指導 |
| 13日(金) | 身体測定(1~5歳児) |
| 18日(水) | 修了式(5歳児) |
| 25日(水) | 終業式(4歳児) |
| 31日(火) | 進級式 |
| 未定 | 避難訓練(予告なし訓練) |

《節分》3日(火)

伝承行事を、年齢に応じて雰囲気を楽しみます。給食は、節分にちなんだ盛り付けをします。

《保護者会 4・2・1歳児》

- ・4歳児 2月 3日(火) 15:30~
- ・2歳児 2月12日(木) 16:00~
- ・1歳児 2月 4日(水) 16:00~

※詳細は各クラスから配信されたお便りをご覧ください。

※学年最後の保護者会となりますので、都合をつけてご参加ください。



ADACHI CITY



〈ひよこ組〉

少しずつ身の回りのことを自分でやってみようとする姿が増えてきています。靴や靴下を自分で脱ぎ履きしようとするだけでなく、衣服の着脱を手伝ってもらいながら自分でやろうとしたり、手洗い前に袖をまくろうとしたりしています。保育者と一緒に行いながら、嬉しそうに「できた！」と喜んでいます。

自分でしたいという思いを大切にしていき、できたという喜びや満足感を感じられるように励ましていきます。



ねらい

- ・保育者と一緒に遊ぶ中で、簡単な見立て遊びを楽しんでいきます。
- ・靴の脱ぎ履きや衣服の着脱など、自分でしようとする気持ちを受け止め、安心して取り組めるようにしていきます。

〈りす組〉

折り紙やテープなどを使って財布や鞆を作ると、「お買い物行ってくるね」と園庭に出ていきました。砂場横のハウスでお店屋さんをしていた友達と「ポテトとアイスください」「はい、ひゃくえんです」と自分で作った鞆からお財布を取り出して、紙で作ったお金でやりとりを楽しんでいます。

自分で作った物を使って遊びを面白がったり、自分が作りたいものが出来上がったりする喜びを感じられるようにしていきます。



ここにテープをつけたいの

お外いってくるね！



ねらい

- ・靴の脱ぎ履きや、上着の着脱など、自分でしようとする気持ちを大切にしていきます。
- ・身近な素材を使って、製作をする楽しさを感じられるようにしていきます。

〈うさぎ組〉

築山に登っていると、「滑ってみたい」という案が。実際に滑ってみると、思っていたよりは「進まない…」でも、滑ったことでお尻が砂だらけの真っ白に。真っ白になったことが面白くて、友達も一緒にやってみたいと遊び始めました。やり取りだけでなく、自然と「友達と一緒に」を楽しんでいる場面でした。

時には言い合って思いを伝えようとすることもあります。子どもたちの感情や思いを受け止めていきながら、過ごせるようにしていきます。

おもしろい！
いっしょにやろう！



こんどはマットで
すべってみようかな？

ねらい

- ・友達と言葉で気持ちを伝え合いながら、一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。
- ・身の回りのことが自分でできたと思えるように援助していきます。

〈ぱんだ・こあら組〉

遊びや生活のなかで何かあれば、子ども同士、保育者と一緒に話し合ってきたことで、少しずつ言葉で想いを伝え合う姿が増えてきた子どもたち。そこで、「自分たちで考えて決めていく力」もつけてほしいと思い、サークルタイムを活用し子どもたちや保育者が提案したことを、保育者の力を借りながら子ども同士で話し合って決めています。

また、友だちとのやりとりのなかで相手を思いやる姿が増えてきています。次は年下のクラスにも目を向けて、一緒に遊んでいくなかで、頼られて自信をつけたり思いやる気持ちを育てたりしていきます。

(小さい子に対して)
何が欲しいかな？



どうやって作ろうかな？



ねらい

- 遊びや生活、サークルタイムで話し合いをしていくなかで、自分たちで考えて決めていく力をつけていきます。
- 異年齢交流を通して、頼られる経験を重ね、思いやる気持ちを育てていきます。

〈ぞう・きりん組〉

ドッジボールが盛り上がっていて、毎日仲間を集めて楽しんでいます。どうしたら相手を当てられるかを考え、「とっくん」という名のボール投げが始まりました。園舎の壁に向かって何度もボールを投げ、「肩の上から投げるよ！」「もっと体をひねって！」と、仲間同士でアドバイスし合っています。

寒い朝にはプールに氷が張っていることを発見し、氷をとってままごとに使ったり、水を抜いたプールでスケートごっこを楽しんだりしました。

今月も冬ならではの自然に触れながら遊びを楽しんだり、仲間と遊ぶ楽しさを感じたりできるようにしていきます。



一緒にドッジボール
やろう！



スケートたのしいね！

ねらい

- 友達との関わりを深め、自分達で生活や遊びを進める楽しさを感じられるようにします。
- 自分なりに生活の見通しをもって活動に取り組めるようにします。

〈かぜのじかん〉

先月からはじまったドッジボール。はじめは、5歳児が楽しんでいるのをルールがわからず見ていた4歳児でしたが、「いれて！」と一緒に楽しむようになってきました。

5歳児も、覚えただけのルールや自分たちで考えたルールを「こうするといいんだよ」と一生懸命に教える姿がありました。4歳児もわからないことは、5歳児に自ら聞きにいき、楽しんでいます。一緒にできたことを喜び「またやろうね！」と話していました。

保育者も一緒に楽しみながら、異年齢の友達とも集って遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。



グーとパーに
わかるんだよ！



ボールにあたらない
ようににげてね！

ねらい

- 異年齢での関わりを通して、友達と協力したり、相談したりしながら遊ぶことを楽しんでいきます。
- 友達とのやりとりの中で、自分の思いを言葉で伝えたり、相手の思いを聞いたりして、気持ちの違いに気づけるようになっていきます。